

アルゼンチン経済・金融概況



三菱東京UFJ銀行

経済調査室

Main Economic & Financial Indicators (Argentina) Economic Research Office

概況

アルゼンチン経済は、2013年央以降、減速に転じている。2013年7-9月期の実質GDP成長率は前年比+5.5%となり、4-6月期の同+8.3%から減速した。需要項目別にみると、個人消費は前年比+8.3%と引き続き堅調であるものの、投資は同+6.1%と前期(同+16.2%)から大きく減速した。これは設備投資が前期の同+30.5%から同+6.3%に減速したことが主因である。経済活動指数から推測すると10-12月期の成長率は同+2.7%の成長となり、7-9月期の同+5.5%から一段と減速したとみられる。1月の鉱工業活動指数は前年比▲2.6%となり、8月以降6か月連続で前年の水準を下回った。

1月には通貨安が一気に進んだことから、輸入物価上昇を通じてインフレは一段と進む可能性があり、これに伴い、個人消費は減速する見込みである。政府は、IMFの勧告に従い、従来より実態に近いと考えられる新しい消費者物価指数(IPCNU)を本年より導入した。高インフレの実態を政府が認めることは前進であり、インフレ鎮静化が次なる課題となる。政府は生活必需品の価格統制を1月から新たに開始する一方、アルゼンチン中銀は売りオペレーションや預金金利の高め誘導による流動性吸収を実施し、インフレ鎮静化を図っているが、標準的な金融政策を導入していないアルゼンチンにおいて、インフレ鎮静化は容易ではない。また外貨準備の減少抑制のため、引き続き輸入規制の徹底が図られ、生産活動に悪影響を及ぼすものと思われる。

物価・雇用

物価：本年より導入した新しい消費者物価指数(IPCNU)によれば、1月のインフレ率は前月比+3.7%と、従来の消費者物価指数の4倍強の数値となった(前年比数値は公表されず)。なお民間コンサルティング会社推計による1月の消費者物価(首都圏)は、前年比+30.8%と引き続き高水準にある。

国際収支

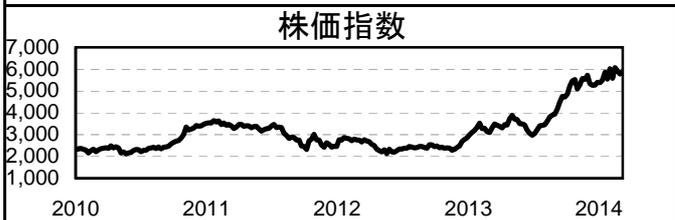
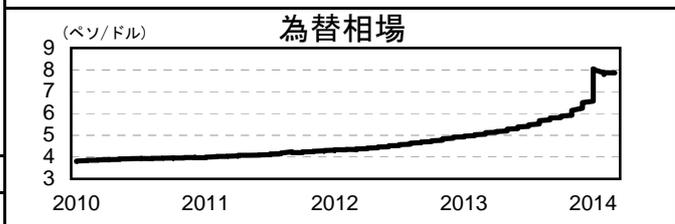
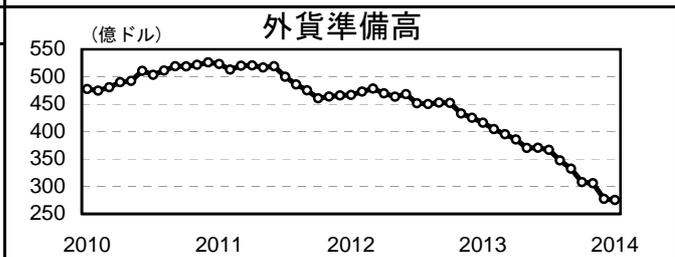
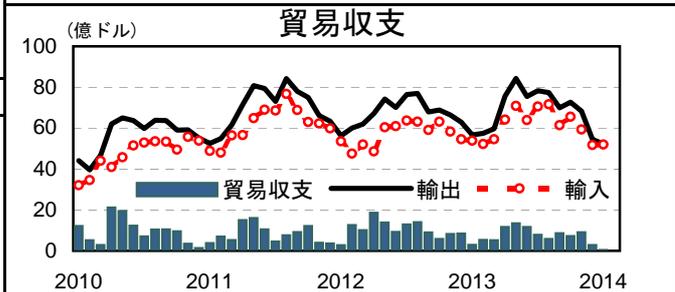
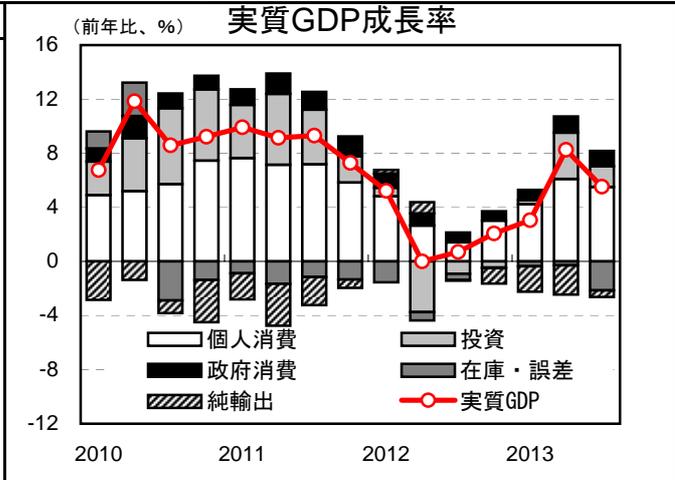
貿易収支：政府の輸入規制により貿易黒字が維持されている構図は不変。1月の貿易黒字は35百万ドルにとどまり、2001年12月のデフォルト宣言以降において最小となった。また昨年央より輸出入ともに減少傾向にあるが、例年3-4月頃より穀物輸出は増加に転じており、農家や業者による極端な穀物売り控えがなければ、本年も3-4月頃より穀物輸出増加により輸出および貿易黒字の増加が見込まれる。

外貨準備高：2月末の外貨準備高は3.7か月分の財・サービス輸入額に相当する275億ドルと、前年より141億ドル減少(▲33.8%)した。2月単月では2億ドルの減少。

金融情勢

為替：アルゼンチンペソの対ドル公式レートは下落基調にある。1月には政府閣僚による通貨防衛を放棄したととれる発言をきっかけにアルゼンチンペソが急落し、一時、1ドル=8ペソ台まで下落した。その後はいったん落ち着きを取り戻しつつある。

株価：メルバル指数は2013年6月につけた3,000割れの水準を底に上昇基調にあり、1月末には6,000を上回った。



(担当：加藤 kato_atsumi@iima.or.jp)

アルゼンチン経済・金融概況

1. 年次

	2011年	2012年	2013年
実質GDP成長率	8.9%	1.9%	-
鉱工業生産指数（前年比）	6.6%	▲1.2%	▲0.2%
建設活動指数（前年比）	8.7%	▲3.2%	4.6%
自動車生産台数（千台）	829	764	791
自動車販売台数（千台）	883	830	964
失業率	7.2%	7.2%	7.1%
消費者物価上昇率（年末月・前年比）	9.5%	10.8%	11.0%
（年平均）	9.8%	10.0%	10.6%
輸出（FOB）（億ドル）	841	809	830
（前年比）	23.3%	▲3.7%	2.6%
輸入（CIF）（億ドル）	743	685	740
（前年比）	30.9%	▲7.8%	8.0%
貿易収支（億ドル）	97	124	90
対外準備（億ドル）（年末）	464	433	306
ベースマネー（億ペソ）（年末）	2,229	3,074	3,772
対民間非金融部門貸出量（億ペソ）（年末月）	2,950	3,875	-
（前年比）	44.3%	31.3%	-
経常収支（億ドル）	-22	0	-
株価指数（メルバル指数）（年末）	2,463	2,854	5,391
対米ドル為替相場（年末）	4.3040	4.9160	6.5180

2. 月次

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実質GDP成長率（前年比）	┌ 5.5% ┐			┌	-	┐	┌	-	┐
鉱工業生産指数（前年比）	2.8%	▲0.4%	▲0.1%	▲0.5%	▲4.7%	▲5.4%	▲2.6%	-	-
（季節調整済、前月比）	0.0%	▲1.7%	▲0.9%	1.2%	▲3.1%	▲0.2%	1.5%	-	-
建設活動指数（前年比）	6.5%	10.7%	7.4%	6.2%	2.9%	5.3%	2.1%	-	-
自動車生産台数（千台）	72	70	72	76	62	45	36	53	-
自動車販売台数（千台）	81	89	85	81	75	89	47	55	-
失業率	┌ 6.8% ┐			┌ 6.4% ┐			┌	-	┐
消費者物価指数（IPCNU、前月比）	-	-	-	-	-	-	3.7%	-	-
輸出（FOB）（億ドル）	78	77	70	73	68	54	52	-	-
（前年比）	2.4%	0.4%	3.0%	5.6%	2.8%	▲13.5%	▲7.7%	-	-
輸入（CIF）（億ドル）	71	72	61	66	59	52	52	-	-
（前年比）	10.9%	13.5%	4.1%	3.9%	1.7%	▲5.2%	▲3.5%	-	-
貿易収支（億ドル）	8	6	8	7	9	3	0	-	-
対外準備（億ドル）	370	367	347	332	308	306	277	275	-
ベースマネー（億ペソ）	3,181	3,212	3,274	3,268	3,368	3,772	3,639	-	-
対民間非金融部門貸出量（億ペソ）	4,402	4,525	4,663	4,764	4,886	-	-	-	-
経常収支（億ドル）	┌ ▲13 ┐			┌	-	┐	┌	-	┐
株価指数（メルバル指数）（月末）	3,358	3,936	4,784	5,165	5,719	5,391	6,019	5,784	-
対米ドル為替相場（月末）	5.5063	5.6688	5.7913	5.9113	6.1363	6.5180	8.0200	7.8725	-

（資料）アルゼンチン中銀、国家統計センサス局（INDEC）、経済省、Thomson Reuters Datastream

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。